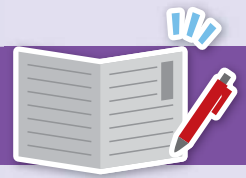


新聞記事の特徴を知ろう



実際の記事を見ると読み方と書き方が分かるよ。

ポイント①

大事なことから書いてある

新聞記事は、いちばん重要な事からを見出しで先に示し、リード文から本文へと後ろにいくほど細かく詳しい内容になっていきます。まずは見出しでニュースを知り、リード文で内容をつかみます。本文を読んでいくうちに、大事な内容を詳しく知ることができます。

見出し

いちばん重要なことから

リード文

出来事のあらまし

本文

より詳しい
内容の説明

ポイント②

5W1Hで書かれている

新聞記事には、取り上げる出来事について次のことが必ず書かれています。

- いつ(When)
- どこで(Where)
- だれが(Who)
- 何を(What)
- なぜ(Why)
- どのように(How)

見出し 東になって積み上げる

リード文

【仁木】果樹の形を整える「剪定」で切り落とされた枝を、15分間の制限時間内にとれだけ高く積み上げるかを競う「第1回スポーツ枝拾いin仁木」が11日、後志管内仁木町の観光農園で開かれ、札幌の東海国際文化学部の新入生約110人が競技を楽しみました。

見出し 仁木でスポーツ枝拾い



おすすめ
ニュース

写真説明

肩車をして、拾い集めた枝を高く積み上げる参加者

本文
の木の、無駄に伸びた枝をサクランボやリンゴなどの木は、無駄に伸びた枝を雪解け前に切り落とす。この枝拾いは重労働

のため、地域振興に取り組む地元農協青年部が中心となり「スポーツとして楽しんで問題解決を図る

2月37人を記録し優勝したチームのリーダー向井敬祐さん(18)は「じょうずに束を縦に積み上げられました」と笑顔を見せていました。

「と実行委員会をつくって競技を考案。東海大に参加を呼びかけ、初めて開催することになりました。10人で1チームを組み、拾い集めた枝の束を積んで高さを競いました。学生らは両手で抱えきれないほどの枝をかき集め、束を次々と積み上げていきました。